

自宅の庭にオオキンケイギクは咲いていませんか？

オオキンケイギクは、5～9月ごろに鮮やかな黄色の花を咲かせる特定外来種です。繁殖力が非常に強く、在来植物へ影響があることから、法律により、栽培や保管、運搬が禁止されています。庭先などで見かけた場合は、根から抜き取り、焼却ごみとして出してください。

☎環境政策課(1階) ☎561-2341、FAX561-2479



歴史ギャラリー

下笠のサンヤレ踊り子役衣装

No.198



▲下笠のサンヤレ踊り子役衣装 (草津市蔵)

「サンヤレ」という意味であるといわれています。華やかな衣装で「サンヤレ」と短い囃子詞を繰り返すサンヤレ踊りは、中世に京都で流行した疫病除けの芸能である「風流囃子物」の系譜を引くとされ、その古い形を今に伝えていいます。令和4(2022)年11月には、栗東市の「小杖神社の芸能祭礼」とともに『近江南のサンヤレ踊り』が、全国各地の「風流踊」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

サンヤレ踊りの特徴といえば、着飾った子どもたちを中心に、鼓や太鼓、笛、ササラなどの楽器で囃し立てながら踊ることですが、その中でも「下笠のサンヤレ踊り」は色鮮やかな衣装を身に付けることで知られています。子どもたちの衣装は特に華やかで、吉祥文様の長着に色とりどりの襷などを身に



▲実際に着用した様子

草津宿街道交流館では、市民の皆さんから寄贈を受けた資料を展示する「郷土資料展」を5月26日(日)まで開催中です。この衣装も展示していますので、ぜひお越しください。

に付け、頭に花笠を被ります。写真の衣装は、かつて太鼓打ちをつとめた家から寄贈を受けたものです。平成10(1998)年に、当時小学校6年生だった男性が着用しました。長着は本人の体に合せて仕立てられたもので、襷や手甲、脚絆、長着の装飾、足袋などは家族で作ったそうです。「手甲や脚絆に紅白の糸で刺繍を入れる」「白い足袋を黄色に染める」「編んだ組紐を鈴とともに長着に縫い付ける」など、家族によって、一つ一つ丁寧に用意され、名誉ある大きな舞台に立つ子への家族の気持ちを感じさせます。近世の衣装だけでなく、このような現代の衣装からも、伝統芸能がどのように継承されてきたのか、その一端を垣間見ることができ、継承の歴史を知る貴重な資料といえます。

☎草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津 (FM78.5MHz) 「声の広報」



スマートフォン用アプリ

- マチイロ
- SideBooks(ちいき本棚)

市公式ソーシャルメディア



草津市メール配信サービス

市の情報をメールで配信するサービス

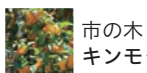


くさつチャンネル

さまざまな動画や、びわ湖放送(BBC)で放送されている草津スケッチもこちらから配信!



市の花 アオバナ



市の木 キンモクセイ

3月31日現在(対前月比)

- 人口139,638人(-165)
- 世帯数63,934世帯(+67)
- 男69,943人(-172)
- 女69,695人(+7)

国スポ開催まであと

515日

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

障スポ開催まであと

542日



開催までカウントダウン!

5月1日(水)時点